

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

競技は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定により実施する。

## 2 練習について

- (1) 練習は、サブトラックを使用すること。ただし、投てき練習は禁止する。  
フィールド競技の練習は、本競技場内で役員の指示により行う。
- (2) サブトラックの「レーン」の使用区分は、下記の通りとする。
  - ア) 周回1～2レーン：中・長距離、競歩
  - イ) 周回3～4レーン：短距離
  - ウ) 周回5～6レーン：400mH
  - エ) 砂場助走路：短距離、100mH、110mH

## 3 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順
  - ア) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイク等の点検を受け、腰ナンバーカードを受け取る。
  - イ) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（招集所備え付け）を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の点検）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
  - ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。
- (4) 混成競技は、両日の第1種目及び2日目の最終種目については競技者係で点呼を受けること。それ以外は混成競技者控室（雨天練習場東側）に待機し、トラック競技は開始時刻の10分前までに、フィールド競技は開始時刻の20分前までに、競技役員の誘導により混成競技者控室から競技場所に移動すること。

## 4 競技について

- (1) レーン、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定において、最終枠に同記録がある時は、0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
- (3) トラック競技の予選において救済措置が生じた場合は救済競技者をB決勝へ進出させることとする。  
なお、救済競技者が複数の場合はタイムによる進出者を減じる
- (4) 下記の選手権種目は予選をタイムレースで行い、記録上位8名をA決勝（1～8位を決定）、下位8名をB決勝（9～16位を決定）として行う。  
(男子) 100m 200m 400m 110mH 400mH (女子) 100m 200m 400m 100mH 400mH
- (5) 下記の種目はタイムレース決勝で行う。  
(男子) 1500m 少年B3000m (女子) 1500m 少年B100mH
- (6) 男女5000m、男子10000m、男子5000mW、少年B3000mはグループスタートで実施する。
- (7) 男女5000m、10000m、5000mW、男子少年B3000m、混成競技の最終種目は別ナンバーカードを使用する。レース終了後にナンバーカード係に返却すること。
- (8) リレーオーダー用紙の提出について
  - ・提出場所：競技者係（招集所）
  - ・予 選：第1組の招集完了時刻の2時間前～1時間前まで
  - ・決 勝：変更の有無にかかわらず、招集完了時刻の1時間前～30分前まで\* リレーオーダー用紙はプログラム巻末または競技者係（招集所）備え付けの所定の用紙を使用すること。
- (9) 競技場内での練習は、必ず競技役員の指示に従って行うこと。
- (10) 長距離種目及び競歩種目については、気象状況を考慮して給水を実施する。
- (11) 選手権大会の性格上、著しく競技運営に支障をきたす場合は競技を打ち切ることがある。

- (12) フィールド競技については、計測ラインを設ける。  
 (13) 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。  
 (14) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまで次のとおりとする。  
 ただし、気象状況により変更する場合がある。

走高跳	男子	練習 1m85	1m90-95-98-2m01-04-07	以後、優勝が決まるまで 3cmずつ上げる。
	女子	練習 1m50	1m55-60-63-66-69-72	
棒高跳	男子	練習 3m60~4m80	3m80-4m00-20-30-40	以後、優勝が決まるまで 10cmずつ上げる。
	女子	練習 2m50~3m20	2m50-60-70-80-90	

\* 第1位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmの幅でバーを上げ下げする。  
 混成競技のバーの上げ方

走高跳	男子	1m75までは5cmずつ 以後は3cmずつ上げる	最初の高さが異なる 2グループで実施
	女子	1m55までは5cmずつ 以後は3cmずつ上げる	最初の高さが異なる 2グループで実施
棒高跳	男子	3m20までは20cmずつ 以後は10cmずつ上げる	

## 5 競技用具について

- 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のもを競技場内へ持ち込むことはできない。
- 投てき用具の検査を希望する競技者は、競技開始の2時間前に西側用器具庫（フィニッシュ側）へ持参し検査を受けること。ただし、出場競技者全員で共有できるものとする。
- 走高跳のマーカ―は、競技役員から受け取ったテープのみを使用すること。
- リレーのマーカ―は、各チームで準備すること。（最大5cm×40cmの粘着テープとする）

## 6 抗議について

- 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、正式結果発表後30分以内（次のラウンドが行われる場合は15分以内）に、本人または監督から審判長にたいして口頭で申し出ること。  
 なお、受付は大会本部の総務員が行う。
- 審判長の裁定に不服の場合は、預託金10,000円を添えて文書で上告すること。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

## 7 表彰について

- 各種目1位～3位の入賞者は表彰を行う。
- 選手権種目は、優勝者に賞状と選手権章、2位～3位の入賞者には賞状を授与する。  
 国体選考会種目は、1位～3位に賞状を授与する。

## 8 その他

- 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は大会本部の医務員に連絡すること。  
 競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- 貴重品の管理は、各自で責任をもって行うこと。拾得物については、競技者係で保管する。
- スタンド最前列に横断幕等を設置してはならない。
- 競技結果及び次のラウンドへの出場資格は場内アナウンスによって発表する。またメインスタンド入口ゲート付近にも掲示する。（競技結果はB・Dゲート、番組編成はCゲート）  
 なお、場内スクリーンに競技結果が確定表示された時点を、正式発表とする。
- 本大会各種目の決勝（A決勝）において6位までの者で近畿陸上競技選手権大会に出場を希望する者は、大会要項を了承のうえ本大会期間中に庶務係で申込料を添えて出場の手続きを完了すること。  
 なお、6位までの者に他府県登録者が含まれている場合や辞退者がある場合は、8位までの者から順次繰り上げて近畿陸上競技選手権大会に出場できる。  
 \* 近畿陸上競技選手権への出場を辞退する者は、庶務係まで早急に申し出ること。
- 記録証明書を希望する者は、庶務係に500円を添えて申し込むこと。